

# 機 構 及 び 事 務 分 掌

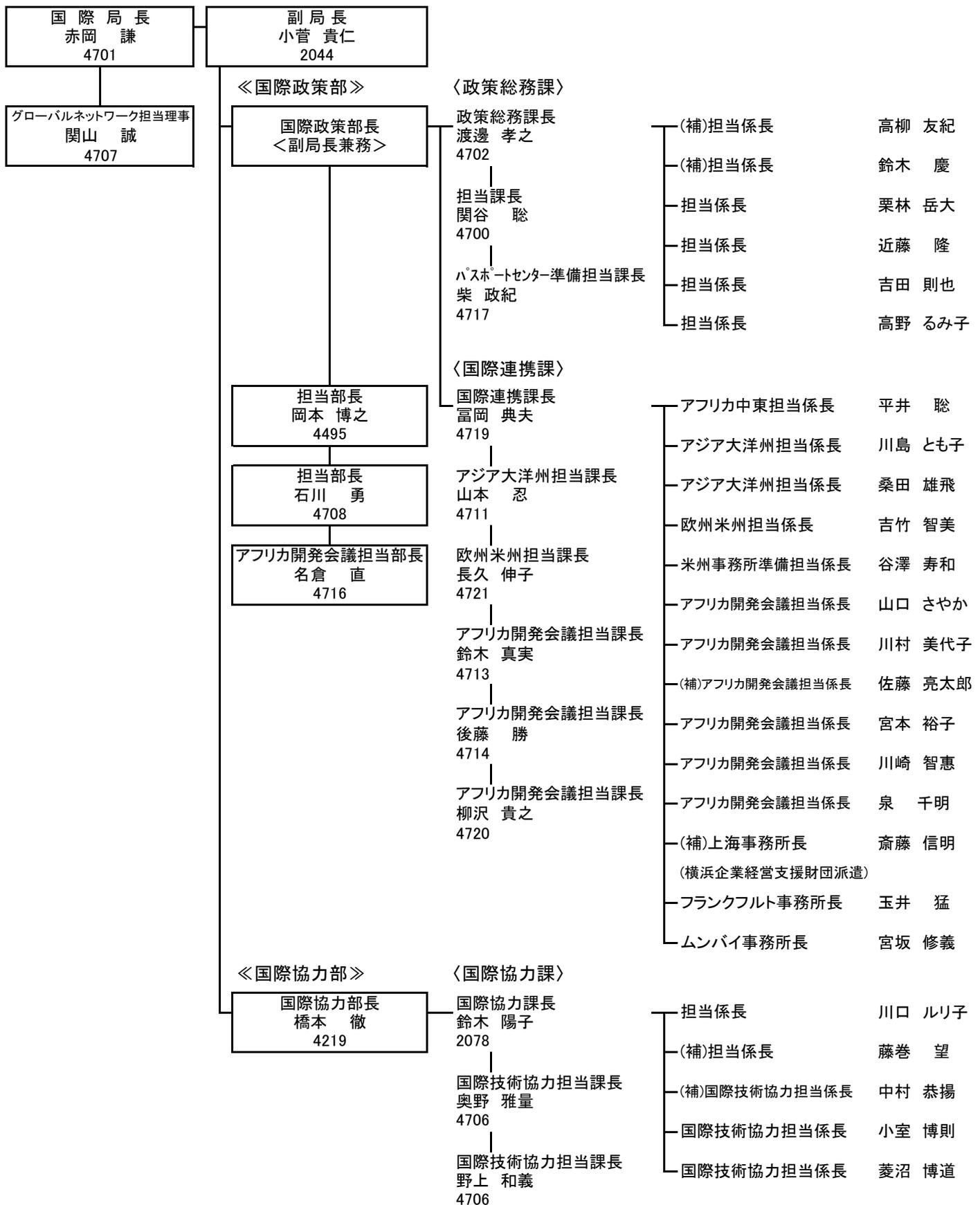
1 国際局機構図	1ページ
2 国際局事務分掌	2ページ

平成 30 年 5 月 18 日

国 際 局

国際局組織図（平成30年5月18日）

（補）は課長補佐



国際局 派遣職員一覧

派遣先	補職名	氏名
外務省	担当係長	林 幸枝
外務省(在南アフリカ共和国日本国大使館)	担当係長	川崎 剛太郎
経済産業省	担当係長	松本 貴之
シティネット横浜プロジェクトオフィス	担当係長	舟木 由以子

## 国際局 事務分掌

### 国際政策部

#### 政策総務課

- 1 局内の人事、文書、予算及び決算に関すること。
- 2 局内の事務事業の連絡調整に関すること。
- 3 局の危機管理に関すること。
- 4 国際政策の総合的な企画、立案、調整、調査研究等に関すること。
- 5 多文化共生、国際人材育成等地域の国際化に関すること。
- 6 公益財団法人横浜市国際交流協会に関すること。
- 7 旅券事務所の設置に関すること。
- 8 他の部及び課の主管に属しないこと。

#### 国際連携課

- 1 国際連携の企画、立案、調整等に関すること。
- 2 海外諸都市との連携に関すること。
- 3 国際儀礼に関すること。
- 4 各国大使館・領事館等との連絡調整に関すること。
- 5 海外に設置する事務所に関すること。
- 6 アフリカ開発会議に関すること。

### 国際協力部

#### 国際協力課

- 1 国際協力の企画、立案、調整等に関すること。
- 2 国際機関等との連絡調整に関すること。
- 3 国際協力に係る民間事業者等との連携に関すること。



# 平成30年度 事業概要

## 国際局

## はじめに

近年、世界では環境問題や災害対策、温暖化対策をはじめ、様々な地球規模の課題が生じています。加えて、都市への集住の進行に伴い、途上国や新興国等の多くの都市が共通の課題を抱えています。国際社会において、都市の発言力や実行力に対する期待が高まっている中、海外諸都市との連携や国際機関との協力を通じて、都市課題の解決に取り組む重要性が一層増しています。

また、国内を訪れる外国人客数は、平成29年の推計値で前年比19.3%増の2869万人で過去最高となるなど、近年急激に増加しています。さらに市内では、在住外国人が9万人を超え、学校や仕事、防災などに関するニーズが増大しています。来訪外国人への多言語対応や、在住外国人の活躍支援も含め、多様な視点で多文化共生のまちづくりを推進することが求められています。

今後、横浜では2019年に第7回アフリカ開発会議が開催されるとともに、ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を控えており、国際的な知名度が上がっていく機会を捉えて、国内外に本市の取組をアピールする好機を迎えています。

平成30年度は、新たな中期計画が策定される年であり、平成27年度に策定された「横浜市国際戦略」も踏まえて、着実に施策を推進することが求められます。市民の皆様への「国際都市横浜」への思いを大切にするとともに、持続可能な開発目標（SDGs）への貢献を念頭に国際事業に取り組み、世界の平和と繁栄に貢献していきます。

## 目次

### 1 平成30年度国際局運営方針

- ・ 基本目標 . . . . . 1
- ・ 目標達成に向けた施策 . . . . . 1
- ・ 目標達成に向けた組織運営 . . . . . 2

### 2 平成30年度国際局予算の概要

- (1) 平成30年度国際局予算総括表 . . . . . 3
- (2) 平成30年度国際局予算のポイント . . . . . 4

#### 【事業別内訳】

- (1) 国際企画・多文化共生推進費 . . . . . 6
- (2) 国際連携事業推進費 . . . . . 8
- (3) 国際協力推進費 . . . . . 10

### 3 参考資料

- (1) 横浜市の姉妹・友好都市、海外事務所等 . . . . . 12
- (2) 持続可能な開発目標（SDGs） . . . . . 14
- (3) 主な各局国際関連事業の平成30年度予算の概要 . . . . . 15

# 1 平成30年度 国際局運営方針

## 基本目標

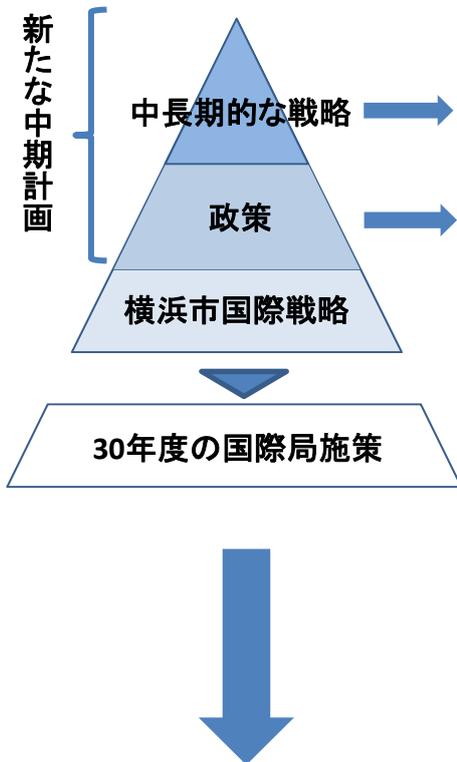
### 「世界とともに成長する横浜」

都市間連携や国際協力、多文化共生など様々な国際事業の推進を通じて、横浜の成長を牽引するとともにグローバルな課題解決に貢献し、市民の皆様の「国際都市横浜」への思いに寄り添いながら、国際社会の平和と繁栄に向けて、使命感をもって取り組みます。

## 目標達成に向けた施策

### 今年度策定される新たな中期計画を踏まえて、平成30年度の国際局施策を推進

#### <新たな中期計画(素案)における国際局の関連部分>



#### 【中長期的な戦略】

##### 戦略1 力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現

Y-PORT事業や海外拠点の戦略的な活用などにより、市内企業の海外展開を支援

##### 戦略5 未来を創る多様な人づくり

多文化共生の推進:市内在住の外国人の生活基盤支援、地域におけるつながりの強化、地域・社会での活躍促進

#### 【政策】

##### 政策3 国際ビジネスの促進とグローバル人材の育成・確保

・海外インフラ分野の事業化の増  
(33年度末までの目標値8件)

##### 政策4 グローバル都市横浜の実現

・海外諸都市等との連携・協力事業の強化  
(33年度末までの目標値600件)  
・国際機関等との連携・協力事業への参加者増  
(33年度末までの目標値270,000人)  
・多文化共生の推進に係る連携・協力団体の増  
(33年度末までの目標値450団体)

##### 行政運営5 市民の視点に立った行政サービスの提供と地域との協働

・市パスポートセンターの設置  
(平成31年秋頃までに設置)

※新たな中期計画の記載内容は素案のため、今後確定時に変更する可能性があります。

新たな中期計画(素案)に掲げた目標の達成に向けて、30年度は次の施策を柱として国際事業に取り組んでまいります。

#### 国際連携の推進

- ・第7回アフリカ開発会議(TICAD7)の開催推進
- ・米州事務所をはじめとするグローバルネットワークの強化

#### 国際協力の推進

- ・国際機関やシティネット(アジア太平洋都市間協力ネットワーク)等との連携・協力
- ・公民連携による国際技術協力(Y-PORT)

#### 国際企画・多文化共生など

- ・東京2020大会等を契機とした多言語対応等の取組
- ・横浜市パスポートセンターの設置準備

市民の皆様の期待に応え、職員の自己実現を図る国際局

CS志向

※Citizen Satisfaction(市民満足)

◆ 職員一人ひとりがPublic Servant(公共の奉仕者)という原点を大切に、すべての取組を推進

- ・市民の皆様の「国際都市横浜」への思いに寄り添い、現場に足を運びながら国際事業を展開
- ・「豊かな市民生活への貢献」を基準に、事業の選択と集中による業務効率化を推進
- ・事例に基づく研修等を通じたコンプライアンスの徹底と不祥事ゼロの継続

ES志向

※Employee Satisfaction(職員満足)

◆ 国際業務に従事する職員が、やりがいを感じ、いきいきと働くことができる職場を実現

- ・「グローバルな課題解決に貢献している」というやりがいを大切に、モチベーションを創出
- ・超勤縮減と長期休暇取得の奨励、説明資料の簡略化など実効性のある「働き方改革」
- ・カジュアルフライデーなどを通じてフラットな組織風土を醸成し、職場の創造性を向上  
※毎週金曜日に、カジュアルな服装(ビジネススーツ、ネクタイ等を着用しない)による執務を推奨

未来志向

◆ 横浜の成長と世界の平和と繁栄に向けて、未来を見つめながら仕事を進める姿勢

- ・グローバルなネットワークを活用した海外の先進事例等の調査・研究と関係区局との共有
- ・各区局向けの国際人材研修や事業化支援など、全庁的な国際事業の推進
- ・「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標年次2030年を見据えた、中長期的な課題への取組



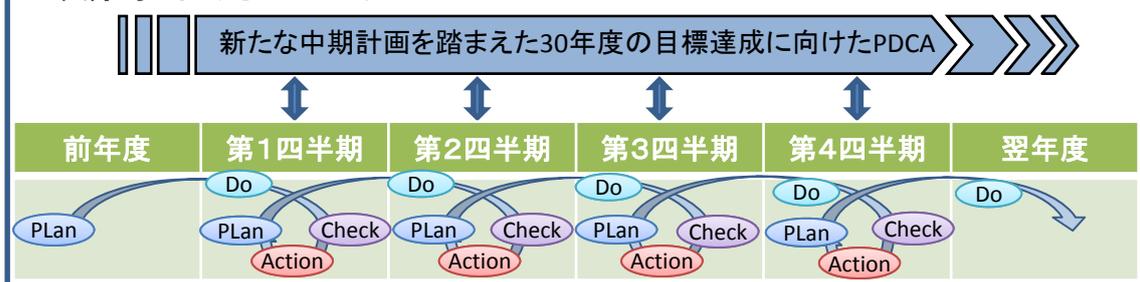
PDCA

※Plan(目標設定)、Do(事業実施)、Check(分析・検証)、Action(次期の目標検討)

◆ 新たな中期計画を念頭に置き、局事業のPDCAによる目標共有と進捗確認を実施

- ・新たな中期計画を踏まえて30年度は四半期ごとに各部門の目標を設定し、進捗を確認
- ・経営責任職(部長級)が中心となり、横断的な課題解決に向けて、チーム力を一層発揮

<国際局におけるPDCAのイメージ>



## 2 平成30年度国際局予算の概要

### (1) 平成30年度国際局予算総括表

平成30年度の予算規模は、13億4429万円で、前年度と比較すると2億6137万円（約24.1%）の増となります。

（単位：千円）

区 分	平成30年度	平成29年度	増△減	主な増減理由
国際企画 ・多文化共生推進費	701,306	620,400	80,906	・体制拡充（新規事業対応）及び パスポートセンター設置準備 （新規）による増
国際連携事業推進費	337,205	187,309	149,896	・米州事務所開設（新規）及び 第7回アフリカ開発会議開催推 進事業（新規）による増
国際協力推進費	305,779	275,212	30,567	・ITTO理事会支援（隔年）及び Y-PORT事業拡充による増
合計	1,344,290	1,082,921	261,369	



アビジャン自治区との間で交流協力共同  
声明（29年9月）



YUSA((一社)YOKOHAMA URBAN SOLUTION  
ALLIANCE)と横浜市の事業提携発表会(29年9月)



姉妹都市提携アニバーサリーイベント  
（29年11月）



よこはま国際フェスタ（29年10月）

## (2) 平成30年度国際局予算のポイント

### 《SDGs達成の一翼を担う国際事業の展開》

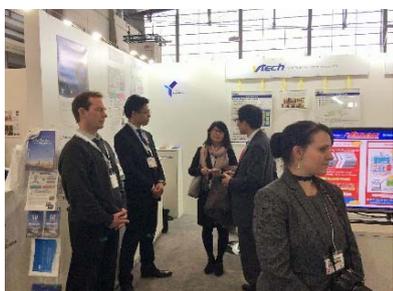
1

#### 米州事務所開設をはじめとする グローバルネットワークの強化 (253,005千円 ㊤182,309千円)

事業別：8頁

米州地域の活力を呼び込むため、ニューヨークに米州事務所を開設して海外の拠点機能を拡充し、市内企業のビジネス支援、企業誘致、観光誘客、文化交流、シティセールスなどに取り組みます。

また、友好都市提携45周年を迎えた上海市をはじめ海外諸都市との交流・連携を深め、様々な分野の政策課題の解決を図り、ともに成長する協力関係を築きます。



ドイツの世界最大級IT見本市  
「CeBIT2017」に本市が出展



上海市副市長の来浜

2

#### 第7回アフリカ開発会議（TICAD7）の開催推進 (84,200千円 ㊤ - )

事業別：8頁

2019(平成31)年に横浜で開催されることが決定した第7回アフリカ開発会議に向けて、外務省や地元経済界・関係団体の皆様と連携して、会議の安全・円滑な開催支援に向けた準備を行います。

また、今回の開催を横浜とアフリカ各国との連携強化の契機と捉え、技術協力や女性の活躍支援等に取り組むほか、一校一国などの交流、各種イベントやビジネスセミナーを実施します。

※アフリカ開発会議（TICAD）：

日本政府が主導するアフリカの開発をテーマとする国際会議



第6回アフリカ開発会議  
閣僚会合の様子



アフリカ各国大使館の方々が  
本市廃棄物処理施設を視察

### 3 公民連携による国際技術協力（Y-PORT事業）（77,030千円 ㊟74,030千円）

事業別:10頁

平成29年度に機能を強化したY-PORTセンターを拠点として、新興国の都市課題解決とともに横浜経済の更なる活性化を目指します。

また、国際会議の開催等を通じ、本市の国際的なプレゼンスの向上を図ります。



セブ市での廃プラスチック  
リサイクルの事業化



アジア・スマートシティ会議  
参加者による本市施設の視察

#### 平成30年度の特徴的な取組

##### ◆友好都市提携45周年を迎えた上海市との交流（8頁）

市民の皆様と連携した交流事業や友好都市交流の広報を行います。



第6回中国(上海)国際技術輸出入  
交易会に市内企業の皆様と出展

##### ◆ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした取組の推進

- 英国諸都市との交流促進（8頁）
- 来訪外国人の受入に必要な多言語対応の推進等  
多文化共生の取組（6頁）



ロンドンJAPAN MATSURIにおいて横浜の  
観光・文化・スポーツイベントをPR

##### ◆パスポートセンター設置準備（6頁）

# 【事業別内訳】

※( )内は平成29年度予算額

<b>(1) 国際企画・多文化共生推進費</b>		<p>「横浜市国際戦略」にもとづく全庁的な国際事業の展開、国際平和の推進、持続可能な開発目標（SDGs）の推進、多文化共生の地域づくり、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成やパスポートセンター設置準備に取り組みます。</p> <p>(本年度事業内容)</p> <p><b>1 国際政策・平和推進事業</b> 568,623千円(480,084千円)</p> <p>(1) 国際平和の推進及び事務経費 様々なイベントの機会を捉えてパネル展等を行うことに加え、本市の都市間連携や国際協力を通じた世界の平和と発展への貢献についてPRを実施します。</p> <p>(2) 職員人件費（一般職 63人）</p>
本年度 予算額	701,306 千円	
前年度 予算額	620,400 千円	
差引	80,906 千円	
本年度の 財源内訳	国	0 千円
	県	0 千円
	その他	14,360 千円
	一般財源	686,946 千円
<b>2 国際企画・広報事業</b>		<b>9,462千円(10,476千円)</b>
<p>国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の推進に向けて、SDGsの認知度を高めるための取組を実施するほか、ホームページを通じた積極的な国際施策の情報発信、各局との連携による国際事業の検討調査などを行います。</p>		
<b>3 世界を目指す若者応援事業</b>		<b>12,856千円(12,995千円)</b>
<p>市内在住・在学の高校生を対象として海外留学を支援します。 また、留学報告会の実施など生徒の留学前後においてサポートとフォローを進めます。</p>		
<b>4 横浜市国際交流協会（YOKE）補助金</b>		<b>71,634千円(79,593千円)</b>
<p>異なる文化や価値観をともに認め、尊重し合える豊かな社会づくりのため公益目的事業を実施するYOKEに対し、それに係る事務局運営費等を補助します。</p>		
<b>5 多文化共生推進事業【拡充】</b>		<b>28,020千円(26,740千円)</b>
<p>急増する外国人と、それを受け入れる地域社会がともに暮らしやすいまちづくりを目指し、区役所と連携した国際交流ラウンジの機能強化等に取り組むとともに、在住外国人の地域の担い手としての活躍促進に向け、留学生と市内企業の交流機会の創出を図ります。 また、ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、来訪する外国人の受入に必要な多言語対応の推進等の取組を進めます。</p>		
<b>6 庁内国際人材育成事業</b>		<b>9,461千円(10,512千円)</b>
<p>職員の海外派遣や研修実施により、国際マインドを持った「国際人材」を育成します。</p>		
<b>7 パスポートセンター設置準備費【新規】</b>		<b>1,250千円( - )</b>
<p>市民の皆様の利便性向上のため、県条例による事務処理の特例により、市内北部地域に新たにパスポートセンターを設置します。30年度は、県との協議・調整及び設置に向けた準備事務を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置時期（予定）：平成31年秋頃（9～10月頃）</li> <li>・設置場所（予定）：市営地下鉄センター南駅構内1階、産業貿易センタービル2階</li> <li>・事務の内容（予定）：横浜市に住民登録している方のパスポート発給申請の受理、交付等</li> </ul>		

## 持続可能な開発目標（SDGs）の推進 ※3 参考資料(2) (14頁)にSDGsの概要について記載

横浜市は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の前身である「ミレニアム開発目標（MDGs）」の時代から、都市間協力による課題解決など、その理念を踏まえた国際貢献に取り組んできました。後継のSDGsにおいても、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、国際機関や企業、市民と連携して、貧困・飢餓の撲滅や女性活躍推進、気候変動への対応など、SDGsに掲げられた地球規模の課題解決に取り組んでいきます。

### 【SDGs達成に寄与する主な国際事業の取組】

- ・WFP、FAO、ITTO等市内に事務所がある国際機関と連携した貧困・飢餓撲滅、森林管理等に関する取組推進
- ・上海事務所における介護ビジネス支援による高齢化への対応支援
- ・ウォーキングポイント事業の海外PR
- ・APEC女性経済関連会合への参画
- ・日・アフリカビジネスウーマン交流
- ・環境やごみ処理等優れた技術を持つ市内企業と連携した国際技術協力（Y-PORT事業）による水・エネルギー・インフラ整備・居住・気候変動等に係る新興国都市の支援
- ・海外動物園と連携した生物多様性の保全
- ・ピースメッセンジャー都市としての平和の取組
- ・海外諸都市とのネットワーク・シティネット事業・国際機関との連携によるグローバル・パートナーシップの構築



WFP(世界食糧計画)と連携したイベント「ウォーク・ザ・ワールド」



アフリカのビジネスウーマンと横浜女性起業家のワークショップ



よこはま国際フェスタにおけるSDGs周知の取組

## グローバル都市・横浜の未来を担う若者を育成 ～世界を目指す若者応援事業～

横浜にゆかりの深い方からのご寄附を原資として、「横浜市世界を目指す若者応援基金」を設置し、この基金を活用して、平成26年度から「横浜市世界を目指す若者応援事業」を開始しました。

国際社会を舞台に活躍を目指す市内在住・在学の高校生を対象に、高校・市民団体が実施する「姉妹校等留学プログラム」による留学や「個人留学」を支援しており、29年度は合計41名の留学を支援しました。

また、本事業の趣旨に賛同・支援いただける皆様からのご寄附を広く募っており、30年度もより多くの皆様からご支援をいただけるよう、広報活動を進めていきます。



留学報告会の様子

## 外国人の活躍促進 ～在住外国人のボランティア育成、外国人留学生支援～

ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とし、在住外国人が語学力や多様な文化的背景を活かして、通訳やボランティアとして活躍していけるよう、ボランティア育成の取組を進めます。

また、企業の海外展開などに向けた人材として期待の高まる留学生が、横浜の経済成長の担い手として活躍できるよう、留学生と市内企業の交流機会の創出を図ります。

外国人が活躍できる機会を創り出し、「多文化共生による創造的社会的実現」を目指します。

留学生と市内企業の交流会の様子



(2)		国際連携事業推進費	
本年度 予算額		337,205	千円
前年度 予算額		187,309	千円
差引		149,896	千円
本年度の 財源内訳	国	0	千円
	県	0	千円
	その他	14,013	千円
	一般財源	323,192	千円

姉妹・友好都市、パートナー都市、共同声明都市をはじめ、海外諸都市との連携・協力関係を活用し様々な分野の政策課題の解決を図ります。  
第7回アフリカ開発会議の開催に向けて、アフリカとの連携を一層強化します。  
上海・フランクフルト・ムンバイに加え、ニューヨークに事務所を設置し、各海外拠点を活用して、市内企業のビジネス支援などに取り組みます。

(本年度事業内容)

**1 海外プロジェクト推進事業**  
73,056千円 (83,220千円)

姉妹・友好都市、パートナー都市、共同声明都市をはじめ、海外諸都市との連携を一層深め、経済・観光・MICE、女性の社会進出や子育て支援、文化芸術、環境、防災、港湾等、様々な分野の政策課題の解決を図り、共に成長する協力関係を築きます。(旧「外国青年受入れ交流事業」を統合・再編)

(1) 姉妹・友好都市、パートナー都市との交流の推進  
友好都市提携45周年を迎えた上海をはじめ、本市の姉妹・友好都市、パートナー都市、共同声明都市と連携した事業を実施します。また、姉妹・友好都市等友好委員会の事業費を補助します。

(2) 海外諸都市とのプロジェクトの推進・創出  
JICA草の根技術協力事業(マレーシア・セベランプライ市の都市計画策定支援)の実施や、東京オリンピック・パラリンピックを契機とする英国との交流、国際会議等における本市の取組の発信など、海外諸都市と連携したプロジェクトを推進・創出します。

(3) 区局連携・支援  
区局・統括本部が様々な分野で展開している国際関連事業を支援するとともに、相互の連携を推進し、本市の国際事業をけん引します。

**2 第7回アフリカ開発会議(TICAD7)開催推進事業【新規】** 84,200千円 ( )  
(平成29年度:第7回アフリカ開発会議(TICADVII)誘致促進事業 5,000千円)

2019(平成31)年の第7回アフリカ開発会議の横浜開催決定を踏まえ、開催準備を確実に進めるとともに、イベントやセミナーの開催、広報活動を通じて「アフリカに一番近い都市 横浜」を広く内外にPRし、アフリカ各国との連携・交流を促進します。

**3 海外事務所運営費(上海・フランクフルト・ムンバイ)** 94,949千円 (99,089千円)

3つの海外事務所を運営し、市内企業のビジネス支援、企業誘致、観光誘客、文化交流、シティセールスなどに取り組みます。

(1) 上海事務所(昭和62年10月開設)  
(2) フランクフルト事務所(平成9年6月開設)  
(3) ムンバイ事務所(平成27年11月開設)

**4 米州事務所の開設【新規】** 85,000千円 ( )

米州地域の活力を呼び込み、企業誘致を促進するため、ニューヨークに米州事務所を開設し、海外の拠点機能を拡充するとともに、グローバルネットワークの強化を行います。(平成30年度中開設(予定))

## 上海との友好都市45周年記念事業

平成30年は、横浜と上海（中国）との友好都市提携45周年の記念となる年です。

### 【記念事業】

市民交流及び経済、文化など様々な分野で「ともに成長するパートナー」として互いの更なる発展をめざし、市民の皆様と連携しながら、交流事業を実施します。

### 【広報】

より多くの市民の皆様に横浜市の姉妹都市交流を知っていただけるよう、インターネットをはじめとした様々な媒体を活用し、広報を行います。



## 第7回アフリカ開発会議（TICAD7）の開催に向けた取組

2019(平成31)年に、第7回アフリカ開発会議が横浜で開催されます。外務省や地元経済界・関係団体の皆様と連携し、会議の安全・円滑な開催支援に向けて準備を行います。

また、第7回会議の横浜開催を、横浜とアフリカ各国との連携強化の契機と捉え、技術協力や女性の活躍推進、人材育成に取り組みます。

さらに、市民の皆様とアフリカ各国との交流を深めるため、市内小中学校での「アフリカとの一校一国」、各種イベントやビジネスセミナー等を実施します。



マダガスカル大統領夫人の  
学校訪問（アフリカとの一校一国）

## 海外事務所の事業展開

上海、フランクフルト、ムンバイの海外事務所に加えて新たに米州事務所（ニューヨーク）を開設し、企業誘致、ビジネス支援、観光誘客等に取り組むほか、各事務所の特徴に応じた取組を展開していきます。

【上海事務所】市内企業による上海をはじめ中国各都市での環境ビジネス等を支援するとともに、高齢者福祉や都市インフラ整備のノウハウの中国への輸出・展開を支援します。

【フランクフルト事務所】パートナー都市であるフランクフルト市との交流事業の企画実施をはじめ、英国との連携強化など、欧州諸都市との間で横浜をPRします。

【ムンバイ事務所】ムンバイ市をはじめインド各都市との都市間連携を促進します。市内企業のビジネス支援を行うとともに、インフラ分野における技術協力の可能性を探ります。



上海事務所  
（商談会におけるプロモーション）



フランクフルト事務所  
（姉妹校提携に向けた協議）



ムンバイ事務所  
（現地企業とのビジネス相談）

### 【米州事務所】

横浜市の新たな海外拠点として、ニューヨークに米州事務所を開設します。

米州地域の活力を呼び込むための企業誘致活動を中心に、現地での機動性を活かした国際事業の推進機能や将来的な施策につなげるための政策調査機能も発揮します。



対日投資セミナーでのトップセールス  
（平成27年、ニューヨーク）

(3)	<b>国際協力推進費</b>	
本年度 予算額	305,779	千円
前年度 予算額	275,212	千円
差引	30,567	千円
本年度の 財源内訳	国	20,000 千円
	県	0 千円
	その他	1,782 千円
	一般財源	283,997 千円

国際機関やシティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）等との連携・協力・支援を通じて、地球規模の課題や都市課題の解決に取り組みます。

公民連携による国際技術協力の実施により、市内企業のビジネス機会の拡大につなげます。

(本年度事業内容)

**1 シティネット事業**

**31,440千円 (35,959千円)**

都市課題の改善・解決を目指すシティネットの実行委員及び防災クラスター議長として活動を行います。また、シティネット横浜プロジェクトオフィスを通じて、技術協力のための専門家派遣などの事業を実施します。

- ・シティネット横浜プロジェクトオフィス運営支援
- ・シティネット防災クラスターセミナー
- ・ネパール震災復興支援

**2 国際協力推進事業**

**197,309千円 (165,223千円)**

横浜市内に拠点を置く、国際熱帯木材機関（ITTO）、国連世界食糧計画（WFP）、国連食糧農業機関（FAO）、アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC）、アンステイチュ・フランセ横浜などを支援するとともに、横浜国際協力センターの運営を行います。30年度は、横浜で隔年開催されているITTO理事会への支援を行います。また、国際協力センターの施設改修を実施します。

**3 公民連携による国際技術協力事業（Y-PORT事業）【拡充】 77,030千円 (74,030千円)**

セブ（フィリピン）、ダナン（ベトナム）、バンコク（タイ）、バタム（インドネシア）等、新興国諸都市との連携を推進し、持続可能な都市づくりに向けた支援を継続的に実施するほか、Y-PORTワークショップ等を通じた市内企業への情報提供や、新興国諸都市での市内企業との合同調査を実施します。

また、海外インフラビジネスに関する専門家を「Y-PORTセンター公民連携オフィス」に配置し、都市間連携を土台とした事業化支援に加え、市内企業による主体的な海外インフラビジネスの事業形成を支援します。

さらに、国際イベントの開催や国際会議等への参加等を通じ、本市の国際的なプレゼンスの向上を図ります。

**アジア・スマートシティ会議**

横浜市は平成24年度からアジア・スマートシティ会議を主催しています。平成30年度もアジア新興国諸都市における持続的な都市発展に関する先験的なビジョン等を共有する場を提供します。

**第6回アジア・スマートシティ会議開催実績**

開催日	平成29年10月27日（金）
参加者	アジア新興国を中心とした25都市の市長等、日本政府・国際機関等の代表者



※本会議は環境未来都市推進プロジェクト・みなとみらい2050プロジェクト予算を活用し実施します。

## シティネットを通じた国際協力

シティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）を通じ、本市の経験を活かしながらアジア・太平洋地域の都市の自然災害対応力向上等に取り組んでいます。



防災クラスターセミナー



ネパール震災復興支援

### シティネットとは

アジア・太平洋地域を中心とする139会員（88都市・51団体）が加盟する、都市の共通課題の解決を目指すネットワークです。横浜市はシティネットの「防災クラスター（分科会）」の議長を務め、「シティネット横浜プロジェクトオフィス」と協力して以下のプロジェクトを実施しています。

#### ■シティネット横浜プロジェクトオフィス運営支援

会員都市に対して技術協力を行う拠点である同オフィスの運営、事業を支援します。

#### ■防災クラスターセミナー開催

会員都市が防災に関する取組・知見を学び、共有するセミナーを毎年行っています。

#### ■ネパール震災復興支援

平成27年4月に発生したネパール地震の復興支援として、建築局と連携してカトマンズ市の技術職員育成支援に取り組んでいます。

## Y-PORT事業の取組内容

平成29年度に開設したY-PORTセンター公民連携オフィスを拠点として、市内企業の海外インフラビジネス機会創出と、新興国の都市課題解決に取り組めます。



Y-PORTセンター公民連携オフィス



### ■主な取組事項

- ・新興国での制度づくり支援等を通じた環境技術のマーケット形成
- ・公民連携による課題解決策の創出
- ・新興国都市ニーズの把握と企業への情報提供
- ・市内企業の技術を新興国都市へ紹介
- ・横浜ブランドの価値向上と国際的ネットワークの構築

※Y-PORTセンターは、公民連携による国際技術協力（Y-PORT）事業を実施するプラットフォームで、平成27年5月に発足しました。多様な関係者と連携しながら、新たな事業スキームの確立を目指しています。

### ■進行中の主なプロジェクト

メトロセブ汚泥処理施設建設設計画準備調査、ダナン市における家庭ごみの分別モデル事業、温室効果ガス削減に向けた取組（バタム）、気候変動対策（バンコク）など、本市が覚書を締結した4都市を中心に、海外の都市課題解決に向けたプロジェクトに取り組んでいます。



汚泥処理施設建設（セブ）



廃棄物の分別促進（ダナン）



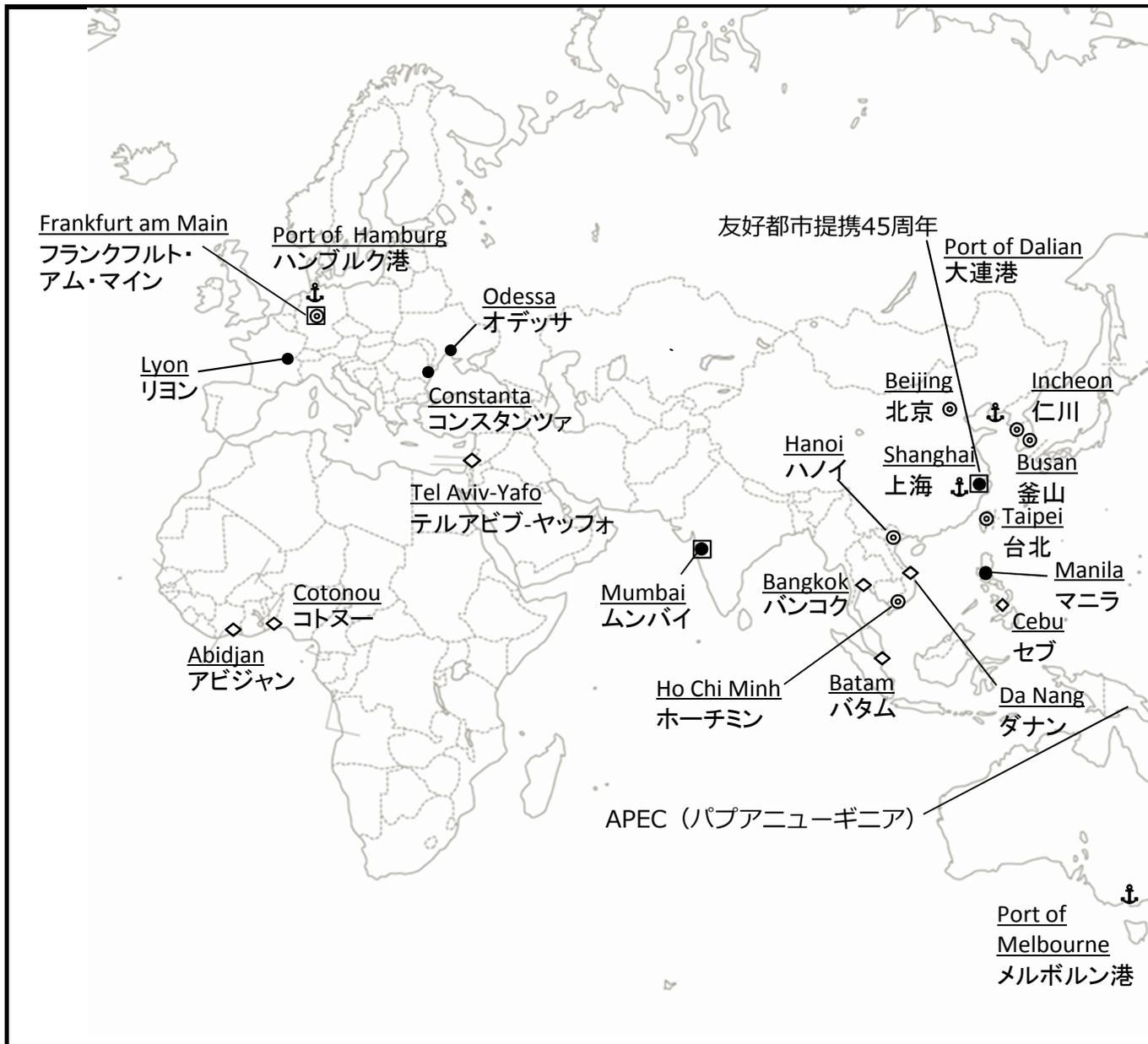
温室効果ガス削減（バタム）



気候変動対策（バンコク）

### 3 参考資料

#### (1) 横浜市の姉妹・友好都市、海外事務所等



#### 「横浜市国際戦略」における地域別の考え方

##### 【アジア・大洋州地域】

高い水準で継続的に経済成長を続けており、地理的にも近いアジアは、ビジネスの展開先として市内企業のニーズが非常に高く、企業誘致や市内企業等の海外展開支援の最重点エリア。訪日旅行客も多いことから、誘客促進のメインターゲットとして、市場に即した誘客を推進。

さらに、旺盛なインフラ需要に対して、本市がこれまで積み重ねてきた都市づくりに関するノウハウを生かし、積極的に貢献していくほか、地理的に近く時差も少ないことから、今後更なる学生交流を推進。

##### 【欧州・北米地域】

社会の高齢化や環境問題など、共通する課題を多く抱えている欧州や北米地域は、環境分野をはじめとした行政課題に関して共に解決策を模索するとともに、情報発信を行う場として活用。

また、成長・発展が見込まれる分野の企業誘致を進めるほか、盛んに行われている学生交流等を土台に、今後の交流を促進・進化。



**今後の動き**

**【中東・アフリカ地域】**

貧困・紛争等の課題も多いが、高い水準で経済成長を続けているアフリカ・中東は、今後のビジネスの可能性を秘めている地域。  
過去2回のTICAD（アフリカ開発会議）の開催実績をもとに、交流のさらなる深化と開発課題解決への積極的貢献を図り、市内企業のビジネスにもつなげていく。

**【中南米地域】**

地理的な距離はあるものの、日系移民の存在など、深いつながりを有している。また、ASEANを超える経済規模があり、ビジネスをはじめ今後の交流の可能性を秘めている地域。  
中長期的な視野に立って、幅広く交流の機会を創出。

**2019年**

- ・横浜開港160周年
- ・第7回アフリカ開発会議(TICAD7)
- ・ラグビーワールドカップ2019™
- ・リヨン市との姉妹都市提携60周年

**2020年**

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック
- ・ムンバイ市との姉妹都市提携55周年
- ・マニラ市との姉妹都市提携55周年
- ・オデッサ市との姉妹都市提携55周年
- ・バンクーバー市との姉妹都市提携55周年

## (2) 持続可能な開発目標 (SDGs)



持続可能な開発目標 (SDGs) は、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを掲げています。

(外務省ウェブサイトより)

17の目標	
1	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
2	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
6	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
9	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
10	各国内及び各国間の不平等を是正する
11	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
12	持続可能な生産消費形態を確保する
13	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
14	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

### (3) 主な各局国際関連事業の平成30年度予算の概要

(平成30年度横浜市予算案記者発表資料より抜粋)

#### Ⅲ 横浜経済の活性化

(単位:百万円)

＜国際戦略＞						
事業名	30年度	29年度	増△減	説明	局名	
国際事業の推進 (一部再掲)	3,097	2,447	650	「横浜市国際戦略」に基づく重点施策を推進 (主な事業を掲載)		
				【横浜のブランド力強化に向けた国内外への発信】		
				国際企画・広報事業	9百万円	国際
				シティプロモーション事業	86百万円	文観
				【パートナーシップとネットワークを通じた都市 間連携の展開】		
				海外事務所運営費	180百万円	国際
				米州事務所(ニューヨーク)開設等		
				海外プロジェクト推進事業	73百万円	国際
				姉妹・友好都市との周年(上海45周年)にかかる 記念行事(市民交流イベント等)の実施等		
				【観光・MICE、大規模スポーツイベントに よる魅力・活力の創出】		
				東京2020オリンピック・パラリンピックに向け た取組の推進	426百万円	市民等
				客船寄港促進事業	357百万円	港湾
				第7回アフリカ開発会議開催推進事業	84百万円	国際
				開催支援・アフリカとの一校一国等(31年会議開催予定)		
				【横浜経済をけん引する国際的なビジネスチャ ンスの創出】		
				外資系企業誘致事業	84百万円	経済
				横浜グローバルビジネス推進事業	41百万円	
				【国際協力を通じたビジネスチャンスの創出】		
				公民連携による国際技術協力事業	77百万円	国際
				国際貢献の推進と海外水ビジネス展開の支援	86百万円	水道 環境
				廃棄物分野における国際技術協力の推進	7百万円	資源
【横浜の資源や技術を生かした国際協力】						
シティネット事業	31百万円	国際				
国際協力推進事業	197百万円					
【グローバルな視野を持った若者の育成】						
世界を目指す若者応援事業	13百万円	国際				
英語教育推進事業	1,174百万円	教育				
日本語支援・国際理解教育	129百万円					
【多文化共生による創造的社会的実現】						
多文化共生の推進	28百万円	国際				
医療の国際化推進事業	4百万円	医療				
【国際事業の推進体制整備】						
庁内国際人材の育成	9百万円	国際				



## 横浜市国際局

【Facebook】 [www.facebook.com/city.yokohama.kokusai/](http://www.facebook.com/city.yokohama.kokusai/)  
【webサイト】 [www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/](http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/)

